

# 第3回避難訓練（地震学習）実施計画

令和5年10月20日

1 目的 授業中以外の時間で震災時における生徒の安全確保と被害防止のために訓練を行う。

2 期日 令和5年11月2日（木曜日）

3 日程

- (1) 朝の会 訓練予告（事前指導）
  - ・本日の地震の訓練は1回ではなく、地震が来たら、緊急避難ポーズを取る。放送が使えない可能性もあることを告げておく。
- (2) (1回目)
  - 10:00～ 地震発生（防災行政無線）後、「シェイクアウト訓練」で緊急避難ポーズを取る。その後、放送が入り、授業を再開する。  
※Jアラートは放送室の訓練用テストスイッチを使用
  - (2回目)
    - 13:25～ 地震発生放送（志水）※Jアラートは放送室の訓練用テストスイッチを使用
    - 13:27～ 教員で生徒に避難を促し、靴に履き替えさせてグラウンドに集合させる。
- (3) 13:35～ グラウンドで担任と学級委員が人数確認し、全校生徒がそろったら、防災主任から訓練の意義を聞く。その後、授業に戻る。
- (4) 帰りの会 授業中以外で訓練があること、地震はいつ来るかわからないことを告げる。

4 詳細

- ・地震が起きたら、職員室でも地震対応。
- ・本震が起きてけが人が発生したら、職員室にいる先生たちで対応。けが人を担架で運ぶ必要があるのか、保健室にどのように連れて行くのか、それぞれの先生たちで判断して実行し、訓練終了後に職員の反省会（放課後）をする。
- ・役割分担：観察、考察（防災主任）

5 事前指導や地震間の対応

- ・揺れが起こったら各自で机（近くにあれば）の下に隠れ、頭を守る。（ポーズ指導）
- ・揺れが起こる前や、起こったら、「落ちてこない」「倒れない」「移動してこない」場所に素早く身を寄せて安全を確保することを伝える。
- ・地震は、余震から始まり本震があることを伝えて、また起こった時はどのようにするかの指導を行う。

6 内容（アクションカード0番を参考に）

(1回目) 放送は、緊急時のボタンを押して流す。

① 「先ほど、大きな地震がありました。先生方は生徒の安全を確認してください。状況を確認次第、避難するかどうかは放送します。」

②職員室で検討会（アクションカード0番）

③「避難の必要はありません。授業を続けてください。」

(2回目) 放送機器が使えないので、生徒がいそうな場所に声をかけて回る。

① 職員室で検討会（アクションカード0番）

② 「建物崩壊の恐れがあります。（靴に履き替えて）、速やかにグラウンドに避難してください。」

※今回は靴に履き替えさせますが、教師の判断で、直接逃げるのもあり。

いつ	どこで	放送器具	けが人
授業中・休み時間・給食	教室・特別教室・その他	使える・使えない	重傷・軽傷・なし

